臨床研究の実施に関するお知らせ

現在、予防医学センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究では、健診で得られたデータ(情報)を利用させていただきます。ご自身のデータがこの研究に利用されることについて、異議がある場合は情報の利用をいつでも停止することができます。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身のデータがこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「相談窓口」へご連絡ください。

- 研究課題名：骨密度検診受診者の特性、及び骨密度と睡眠の質と時間の関係についての観察研究
- 承認番号：22-Im-004
- 研究の目的
 - ・ 健診受診者特性ごとの骨密度を記述すること
 - ・ 骨密度及び骨粗鬆症と睡眠に関連する因子（質、時間、時間帯）の関連を横断的に明らかにすること
- 予想される医学上の貢献及び意義

骨折・転倒は、介護要因の10%以上を占めます。骨折は加齢、筋肉量減少、骨密度低下と関係があり、日本の骨粗鬆症の75—79歳での有病率は男性13.8%、女性47.7%と特に女性で高くなっています。早期に骨密度低下を発見し、適切に対処することは骨折の予防につながると考えられていますが、国が実施している骨粗鬆症検診の受診率は全体で5.1%と受診率は低いのが実情です。そのため、健診結果を用いた本研究の骨密度の報告は日本人の実態を把握するために役立つものと考えられます。また、超高齢化による骨折リスクが懸念される今日において、まずは睡眠と骨粗鬆症の関係を横断的に明らかにすることは、将来の骨折リスク発生を抑制する施策の一助となる可能性があります。
- 対象となる方

2020年4月1日から2022年5月31日までの間に国際医療福祉大学予防医学センターを受診し、骨密度検査結果が明らかな20歳以上の成人
- 研究開始日（当院の臨床研究審査委員会承認日）2022年5月24日
- 研究期間：審査委員会承認日(2022年5月24日)から2024年3月31日

- 使用させていただく検診データ
 - 年齢、性別
 - BMI、体脂肪率、閉経年齢、過去の骨折、骨粗鬆症の既往、喫煙歴、飲酒習慣、運動習慣
 - 既往歴（糖尿病、関節リウマチ、高血圧など）及びステロイドの服用
 - 睡眠時間、質、時間帯 など

- 個人情報の取り扱いと倫理的事項

研究データから、受診様を直接特定できる情報(お名前や住所、IDなど)を削除し、研究を実施いたします。研究データから受診様を特定することはできません。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、要約したデータとして利用され、個人の測定結果等が公になることはなく、受診者様のプライバシーは守られます。なお、この研究は、個人情報保護法にも準じて定められている国の医学研究に関する指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て実施しています。

- 研究の実施場所：国際医療福祉大学大学院赤坂キャンパス

住所：〒107-8402 東京都港区赤坂4丁目1-26

電話：03-5574-3900（代表）

- 研究責任者：国際医療福祉大学大学院医学研究科医学専攻社会医学研究分野 山崎 力

- 相談窓口：山崎 力（研究責任者）

住所：〒2107-8402 東京都港区赤坂4丁目1-26

電話：03-5574-3900（代表）